

平成29年度 第2回 「宇都宮市民大学運営協議会」議事録

- 1 開催日時 平成29年8月4日(金) 午前10時30分～正午
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席者 委員 10名(別紙参照)
事務局 9名(生涯学習課)
増渕課長, 吉澤課長補佐, 鈴木係長, 黒須総括, 高田専任
藤田社会教育主事, 加藤社会教育主事, 若林社会教育主事
大畑主事
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - (3) 報告
 - ① 宇都宮市民大学における館外学習に係る運営について
 - (4) 議題
 - ① 平成29年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について
 - ② 平成29年度宇都宮市民大学後期講座の実施について
 - ③ 平成30年度宇都宮市民大学の実施について
 - (5) その他
 - (6) 閉会
- 7 会議資料 別添資料参考
- 8 議事の経過
 - (1) 開会
事務局) … それでは、ただいまより、平成29年度第2回宇都宮市民大学運営協議会を開会いたします。
まず、定足数についてご報告申し上げます。本日はすべての委員の皆様にご出席いただいておりますので、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第6条第2項の規定を満たしており、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。
 - (2) 挨拶
饗庭会長 ⇒ 本日はお忙しい中、平成29年度第2回宇都宮市民大学運営協議会

にご出席いただき誠にありがとうございます。

市民大学事業につきましては、前期の講座が終了したところでございまして、皆様の御協力により、よりよいものになったと感じております。

本日の議題でございますが、「平成29年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について」、「平成29年度宇都宮市民大学後期講座の実施について」、「平成30年度宇都宮市民大学の実施について」この3点についてご意見をいただくことになっております。

平成30年度の市民大学の実施につきましては、第2次宇都宮市地域教育推進計画がございまして、今年度は最終年度に当たりますので、改定されます第3次宇都宮市地域教育推進計画に基づきまして、平成30年度の市民大学の方針をご協議いただくこととなります。委員の皆様には、魅力溢れる満足度の高い市民大学となりますよう、忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 報 告

事務局) … 続きまして、(3)報告に入らせていただきたいと思います。

「宇都宮市民大学における館外学習に係る運営について」

事務局よりご説明いたします。

報告① 宇都宮市民大学における館外学習に係る運営について

(4) 議 題

事務局) … 続きまして、(4)議題に入らせていただきたいと思います。

議事の進行につきましては宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条第2項の規定により、会長が議事を進行することとなっておりますので、これから先の進行につきましては、饗庭会長にお願いしたいと存じます。

饗庭会長、どうぞよろしくお願いいたします。

饗庭会長 ⇒ それでは、議事を進めて参りたいと存じます。スムーズな議事進行ができますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

饗庭会長 ⇒ 議題①「平成29年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について」事務局から説明をお願いいたします。

議題① 平成29年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について

(発言の主旨)

川本副会長⇒ やはり歴史や宇宙に関する講座は人気が高いということが見てとれると思います。一方で定員ぎりぎりの講座が2講座ありました。この結果を踏まえ、これから企画講座の選考を実施していく際に、うまく受講者のみなさんの希望が叶えられるような内容を選んでいった方が良いでしょう。

定員に対し2倍3倍の応募があった講座と比べると、受講希望者が少なかった講座にはどのような理由があるのでしょうか。そういった情報も分かると良いでしょう。

特に国際社会の講座については、これからオリンピックも始まり、宇都宮は日光が近いということで外国人観光客も増えており、大変意義がある講座だったと思いますが、実際には受講者はあまり多くなかったことは残念だと思います。

小針委員 ⇒ 全体的に人気も高く成果も出ていて、とてもすばらしい講座が展開されたということが実感できました。特に、参考1「平成29年度宇都宮市民大学前期講座 アンケート結果」の「成果の内容」にあります「地域における活動の支援に生かす」に5%の方が答えています。この5%の方が講座を受け、地域における活動に生かすと思ってくれたことを重く受け止めたいと思います。知識があり、ボランティア活動をするのと、知識がなくて活動をするのでは、違いがあると思います。地域社会を豊かにしたいと思っても、知識があるとないでは豊かさの質が変わってくると思っていますので、このところは大事にしていきたいと思っています。

また、講座の成果ですが、「このことがきっかけでこういうことを始めました」とか、「こういうことにつながりました」とか、「グループを作って『街歩き』を始めました」など、具体的なもの・見えるものがあると新たな顧客開拓につながると思います。

饗庭会長 ⇒ 成果が地域に広がることを期待して、その成果を見えるようにして
いただきたいと思います。

また、課題についてですが、受講回数3回目以上と回答している方が70%を占めているということで、リピーターの方が多く、新規の方を取り込むことが課題となっています。

長谷川委員⇒ コースが3コースに分かれています。前期は【Ⅰ郷土を愛する地域・文化・歴史コース】が1つ、【Ⅱ今を読み解く現代社会コース】が1つ、【Ⅲ暮らしを彩る教養コース】が4つあり、後期についても【Ⅱ今を読み解く現代社会コース】は1つしかなく、全体で12講座あるので、バランス良く3つのコースがあるといいと思います。

饗庭会長 ⇒ それでは、他にご意見等ないようですので、議題①「平成29年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について」ご承認いただけますでしょうか。

一同 ⇒ 異議なし。

(議題①については、全委員の承認を得て議決)

饗庭会長 ⇒ 続きまして、議題②「平成29年度宇都宮市民大学後期講座の実施について」事務局から説明をお願いいたします。

議題② 平成29年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

饗庭会長 ⇒ 合同開講式の会場につきまして、本来は市内の大学で輪番制の担当校が実施しており、後期は作新学院大学でございますが、前期の受講者アンケートの結果にもありました「遠方である」などのご意見をいただいていることや、受講生の高齢化もあり、なかなか郊外に来ていただけないということで、市の中心部で受講者が多く参加できるように、事務局の方でご配慮いただいた結果、宇都宮市役所14大会議室で開催することになったところでございます。ご了解いただきたいと思います。

鈴木委員 ⇒ いつも多彩なテーマを展開しており、作る側からすると今までの講座とまた新しく差を出しながら作るのなかなか大変かと思います。

また今回の後期講座を見ると、人気の高い【I郷土を愛する地域・文化・歴史コース】が増えておりますので、比較的参加者数の増加が見られるのではないのでしょうか。これまでの要望等を踏まえながら実施していただきたいと思います。

川島委員 ⇒ いろいろなおもしろそうな講座がたくさんあり、人気が出る講座もあると思います。特に【I郷土を愛する地域・文化・歴史コース】のNo.1「修復師から見た日光の社寺」は定員を超えていくのではないかと思います。前期講座の定員の3倍を超える申込みがあった「円空仏の微笑みに魅せられて」のように、例えば、3倍を超えるような講座が出た場合、リピーターが多いということもありますが、新しく申込された方が初回で落ちてしまった場合には、具体的にどのような対策をお取りになつていますか。また、定員3倍を超えるような講座を次年度にも実施したらどうかということについてどうお考えでしょうか。

事務局) … 定員を超えた場合の対応としましては、抽選にて受講生の決定をしているところです。抽選の方法を説明させていただきます。

例えば、後期で抽選することになった場合、まずは前期で抽選に漏れてしまった方や初めて申し込まれた方を優先的に受講できるようにしております。その他の過去に受講経験がある方々に関しましては、機械的な方法で抽選をさせていただいております。

定員についての考え方ですが、座学のみの場合は、こちらの収容人数の限界や、講座を聞いていただく環境等にも配慮しながら状況に応じて定員を増やしております。また、館外学習が実施する講座の場合には、バスの定員や見学地の受け入れ人数の上限等がございますので、講師の方にも相談をしながら受け入れ得る限りの方を受け入れられるように、協議させていただいた上で、対応させていただいているところでございます。

また、人気が高かった講座を再度実施するというご質問につきましては、事務局の方で検討させていただきまして、来年度の講座の企画・募集につきましては、本日の会議の後、今月下旬頃に企画募集を

かけるに当たっての会議を行う予定になっており、先ほどご要望いただきましたコースの講座数についても含め、検討させていただきます。

事務局の方針といたしましても、企画者が講座企画運営選考委員会に提出している講座の中には、提案をして採用されなかった講座を次の年に再度提案している実情などもありますので、そういったところも踏まえ、人気のある講座の採用についても検討させていただき、再度、2回目3回目の実施も考えさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

小針委員 ⇒ 3倍ぐらい申込みがあったときは、なんとか入れてもらえないのかと思いますが、やはり学習には効果的な人数があると思いますし、講師との調整もあると思います。同じ講座を次年度も実施してもらえようであれば、そのことが受講生に伝われば、抽選に漏れてしまった人のフォローになると思います。そうであれば、無理なく適正な人数で実施してもいいと思います。

饗庭会長 ⇒ 後期講座の今後のスケジュールと、館外学習のある講座はどの講座なのでしょう。

事務局) … 館外学習のある講座につきましては、No. 1「修復師から見た日光の社寺」こちらの方は、実際に修復しているところに赴きまして見学する予定でございます。またNo. 2「秀吉の知略！家康の戦略！」におきましても、小山方面をまわる予定で考えているところでございます。以上の2講座でございます。

周知の方法は、9月1日には「広報うつのみや」掲載、また、募集パンフレットを前期と同様に、市内の公共施設等に置かせていただきまして、案内をしていくところでございます。

饗庭会長 ⇒ 他にご意見がないようでしたら、議題②「平成29年度宇都宮市民大学後期講座の実施について」ご承認いただけますでしょうか。

一同 ⇒ 異議なし。

(議題②については、全委員の承認を得て議決)

饗庭会長 ⇒ それでは、議題③「平成30年度宇都宮市民大学の実施について」事務局から説明をお願いいたします。

議題③ 平成30年度宇都宮市民大学の実施について

野中委員 ⇒ 開催方針の中で、市民大学事業は「生涯学習センター主催講座」と「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、と述べられています。横で調整されているのか、あるいは具体的な差別化、違うものであるというものがあるのでしょうか。

事務局) … 市民大学については「高度で専門的な」という括りで開催させていただいているのですが、各地区にございます生涯学習センター、宇都宮市の場合は地区市民センターなどが併設になっておりまして、より実務的な内容で、趣味・教養などの講座のほか、日常的に地域で起こっているような課題を解決する実務的な講座を主に開催しているところ。人材かがやきセンターにつきましては、地域で活躍できるような人の育成に主眼を置いており、Vスタッフの養成や家庭教育を支援する家庭教育サポーターの養成、放課後子ども教室などで活躍しているコーディネーターのスキルアップの講習など、「人材」というこの名称のとおり人の育成に主眼を置いた講座を開催しております。また、生涯学習課が唯一主催する講座の場でもございますので、特に社会的課題など、家庭教育にも密接な関係があるものや、先日には、貧困問題で高齢者がどのように青少年に対して支援ができるかどうかというような問題を取り上げた講座を実施させていただいております。

御子貝委員⇒ 皆さんにお礼を申し上げます。お忙しい中、貴重な時間を割いていただきまして、毎回このように参加していただくことに感謝いたします。

私どもボランティアスタッフとしましても、周囲の皆さんに参加していただき、楽しい地域社会を作っていただくために、一生懸命これからも頑張ってまいりたいと思いますので、どうぞご協力よろしくをお願いいたします。

小太刀委員⇒ 平成30年度の講座につきまして、宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパスでの合同開講式・公開講座を予定しておりますが、先に申し上げておきたいと思います。合同開講式におきまして、駐車場については20台ぐらいしかスペースがございません。そのため、委員の皆様方の駐車場を用意することはできるのですが、受講者の方の駐車場はございませんので、その点についてはご了承いただき、公共交通機関を利用するようにご案内をしていただきますようよろしくお願いいたします。

長谷川委員⇒ 館外学習に使用するバスは、市のバスですか。それとも業者のバスになるのでしょうか。

事務局) … 業者のバスを使用しております。市のバスに関しましては、1年間を通してスケジュールが決まっており、市民大学の場合は見学先や、講師の方のご都合などもございますので、業者のバスを借り上げて実施することになります。

饗庭会長 ⇒ 館外学習で当日キャンセルが出た場合には、どのような対応をされるのでしょうか。

事務局) … 今回、前期については関東バス旅行会社に依頼し実施したところですが、キャンセルについてもバス会社の規定に則り対応したところですが、前期も2名ほど、1週間前と前日にキャンセルした方がおりましたが、今回は旅行業法に抵触する恐れがございましたので、事務局が実費徴収を行うなどの金銭等取り扱いをしませんでした。そのため、直接キャンセル者と旅行会社でやりとりをしていただき、旅行会社の方から規定の額を返金していただきました。後期も同様に対応されるかと思われま。

饗庭会長 ⇒ 先ほど議題①の質疑の際に、地域コミュニティーに広がるよう、今後PR・検討していただきたいというような意見がございましたが、具体的にどこをどう応えられていくのかお示しいただけたらと思います。

事務局) … ボランティアスタッフの企画内容にもよりますが、学んだことをどのように活動する中で地域に還元できるかという視点を優先的に評価の部分 deeply 設定していけたらと考えていることが1つと、大学連携講座等におきましても、当番の大学と事務局が打合せをする際に、そういったコミュニティーに関わる部分の内容に繋がられるような題材を取り入れていただくようお願いしながら進めていければと思っているところでございます。

饗庭会長 ⇒ 【Ⅱ今を読み解く現代社会コース】で、地域コミュニティーに活かしていく知恵を学ぶ講座となっておりますので、今後選考のときにこのような観点の視点を取り入れながら選考を行っていただければと思います。

それでは、議題③「平成30年度宇都宮市民大学の実施について」ご承認いただけますでしょうか。

一同 ⇒ 異議なし。

(議題③については、全委員の承認を得て議決)

饗庭会長 ⇒ せっかくの機会でございますので、委員の皆様から、市民大学に關しまして、何かご意見・ご要望等がございましたらご発言願います。

宇都宮市内の大学が6大学ございまして、ご協力いただきまして毎年持ち回りで合同開講式の会場の提供、公開講座、連携講座を実施していただいているところでございますが、ちょうど今年が2順目の最終年にあたります。今まで実施した中で、大学と事務局との協力体制について、ご意見ご要望がございましたらいただきたいと思ひます。例えば、開催時期や先生方の授業の關係、講師を選ぶ際のご苦勞など、もしございましたら伺いたいと思ひます。

加藤委員 ⇒ 宇都宮大学について、特に実施時期とかこれまでの講座の時間につきまして支障になっているというようなことは伺っておりません。引き続き協力させていただきたいと思ひます。

特に昨年度から地域デザイン科学部という地域に寄り添った地域課題に対して人材を養成する新しい学部を創設し、様々な地域の自治体

と連携をいただきながらプログラムを実践していくというところもござい
ます。これからもこのような趣旨に沿って今後ともご協力させて
いただきたいと思います。

川本副会長 ⇒ 帝京大学について、基本的には特に大きな支障はございませ
んでした。問題は講師ですが、同じ先生ではなく、いろいろな教員が分担
して行ったということでした。来年また、後期の担当をすることになり
ますので内容を考えたいなと思っております。皆さんが期待できる
ような内容が何かできないかと考えているところです。

小太刀委員⇒ 宇都宮共和大学、宇都宮短期大学について、時期的な部分につ
きましては、問題ないと聞いております。平成30年度の合同開講式の場
所等につきましても、皆さんの方から遠いのではないかと宇都宮市役
所での実施もございますので、問題ないかと思えます。先生の講座の
内容については、いつも非常に頭を悩ませ考え、できるだけ質の高
い、それから市民の方にも興味をもっていただけるような講座を考え
ております。大学内部で選定させていただいて進めていきたいと思っ
ています。

饗庭会長 ⇒ 作新学院大学について、市民大学と協力し、社会貢献・地域貢献の
一環であるということで捉えまして、問題なく実施しているところで
ございます。

今後も、それぞれの大学が特色をもった学部・学科がござい
ますので、特色を活かした魅力的な講座を開講していただきたいと思います。

事務局) … 第3回の運営協議会の開催でございますが、例年通り11月下旬か
ら12月にかけて実施してまいりたいと考えております。詳細につ
きましては、別途ご案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

饗庭会長 ⇒ 以上で本日の議題は全て終了といたします。円滑な議事進行に関し
まして、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。